レッスン：SPA No.57

テーマ：質問＆答え　No.1

SPA 57/KE9/JA6

私の兄弟、姉妹達、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に包まれています。

以前のレッスンでは素質的可能性の様々なサイクルによって与えられるそれらの助け全ては、いかなる意味でも人間が創造したものではなく、レッスンで述べたように、生それ自体によって与えられるものである、と述べました。そして生それ自体という時、実際それは神の黙想によって与えられます。なぜなら、何であれ創造界にあるものは神の黙想の結果だからです；与えられるものが絶対存在の、言ってみれば特定の特質を通ったものであるか否かは全く別問題です。そしてご存じのように、創造界には汎宇宙的キリスト・ロゴスである絶対存在のロゴス的現れがあります。それはまた生の海でもあり、あらゆるものを活性化します。そしてイエス・キリスト・ロゴスのように、それはまた人間が現在のパーソナリティーの自己実現の後に到達すべき原型としてのモデルでもあります。それらのレッスンで述べたように、ロゴスはまた天上人（Heavenly Man）でもあります。最大のものから最小のものまで創造のセル(＊Cell of Creation、創造の基本組織というような意味)を提供するのは天上人です。

過去に述べたように、生命の木は創造のセルを意味し、それはまた人間の形を現しています。そして人間の形と言うとき、それは生それ自体としての人間、あるいは実存の世界における現在のパーソナリティーとしての人間のどちらをも意味します。

過去のレッスンにおいて私たちは皆さんに沢山のシンボルを提供しました。すでに述べたように、それらのシンボルを使う場合、特に三次元的シンボル、つまり様々なタイプのピラミッドを効果的に使用する前に、あなた方はエーテルの様々な質をマスターする必要があります。言い換えれば、像を意識的に創造するためにはサーフェスオプラシー(surfaceoplacy)とイドロプラシー(idoloplacy)を視覚化できるようになっている必要があります。視覚化とイドロプラシーはひとつでしょうか？どう思いますか？視覚化にはイドロプラシーが必要ですが、モニュメントを細部にいたるまだ築く（例えば四面ピラミッド、その他のピラミッドを築く）というこのワークのためには、それだけでは十分ではありません。これからの数回のレッスンでは、宇宙論におけるギャップを出来る限りカバーするために、質疑応答という形でレッスンについてフォローしていきましょう。

質問：エーテル体にエネルギーを与えて活性化することを将来学ぶ時、それは肉体にも適用できるのでしょうか？

Ｋ：そのためにはたくさんのワークが必要です。

質問：わかっています。でもいつスタートするのですか？

Ｋ：ワークはすでに最初のレッスンの時から始まっています。ワークはその達成に向けて、つまり現在のパーソナリティーの諸体（ダブル・エーテリックではなく現在のパーソナリティーの諸体）を意識的に使用できるようになることを目的として始まっています。

質問：ダブル・エーテリック体と同じように、それを達成するためのエクササイズがあるのですか？

Ｋ：エクササイズは運動、感覚、刻印エーテルの特質をマスターするためのものであり、エーテル体のためのものではありません。**エーテル体に関するワークをするためには、パーソナリティーがたくさん気づきの上昇を果たしている必要があります。言い換えれば、あなた自身の体、または同胞の人間のダブル・エーテリックについてワークするためには、サイコノエティカルな上昇が必要です。そしてそのワークはヒーリングという唯一の目的のためにのみ行われます。**しかし、**そのためにはあなた方は物質化および非物質化の能力を得ている必要があり、それまでは不可能です。**

Page 2

**物質化および非物質化の能力なくして、いかにしてダブル・エーテリックに働きかけて他人の肉体を助けることが可能でしょうか？そしてその能力に到達するには、過去に何回も述べたように、パーソナリティーは現在のパーソナリティーの諸体をマスターしている必要があります。つまり、自己実現への到達、言い換えれば創造エーテルを超意識的に使用できなければならず、それは現在のパーソナリティーが自己実現に到達した時初めて得られるものです。**

例えば、祈りなどのような信仰によるヒーリングを行い、あなたにはわからなくても、あなたの祈りによって相手が良い結果を得た場合、それはあなたが相手のダブル・エーテリックに働きかけたことを意味しません。またあなたが手を相手の身体に置くことによってエネルギーがあなたから相手へと送られる、マグネト・セラピー（磁気セラピー）と呼ばれるタイプもあります。しかし、それらは相手のダブル・エーテリックにワークしているわけではありません。

繰り返しますが、**それが相手の肉体であれ、ノエティカル体またはサイキカル体であれ、相手のダブル・エーテリックにワークする場合、また現在のパーソナリティーがサイキカル・ヒーリングまたはスピリチュアル・ヒーリングを施す場合、それら二つのタイプ、二つのカテゴリーのヒーリングを行うためには、現在のパーソナリティーが自己実現に到達している必要があります。**

サイキカル・ヒーリングをするためには、素質的可能性の四つのサイクルを完了している必要はありません。その少し前でも可能です。；**しかしスピリチュアル・ヒーリングを行うためには素質的可能性の四つのサイクルが完全に終了している必要があり；同時に前にも述べたように、五番目のサイクルがあらゆる意味をも越えて、特に時間の意味を越えて即座に完了することでしょう。**そのパーソナリティーは五番目のサイクルの完了の結果を受け入れないでしょう。

**ですから、パーソナリティー、つまりヒーラーはそのようなステートに到達した時初めて、ダブル・エーテリックに働きかけることが可能となります。**しかし、今探究者が行うべきワークはエーテルの様々な特質に関するワークです。創造エーテルのことは忘れなさい。創造エーテルについては自動的に付け加えられるでしょう。法則それ自体(Law itself)によって付け加えられます。しかし、他の三つのエーテルをマスターした後のことです。それは過去の時代にはテクニカルな手段によって行われました。それゆえに、レッスンで触れたそれらのモニュメントとしてのシンボルは創造エーテルの使用によって築かれたのです…それらの全ての部分ではなく、特に多くの努力が必要な部分においては、それらの部族のリーダーによって創造エーテルが使用されたのです。エジプトの場合は、ファラオおよびファラオの側近の数人の僧侶たちはそのようなパワーを有していたのです。この地球上にある他の場所でも同じことが言えます。

質問：信仰ヒーリングと磁気セラピーにはどのような違いがあるのですか？

Ｋ：磁気セラピーではセラピーを行う人がチャネルになり、それゆえにヒーラーはチャネル（導管）となり、エネルギーを受け取って相手に与えますが、ヒーラーは自分が実際に何をしているのかわからないでいます。

質問：それでは磁気セラピーを行う人は、特定の人に対してそのワークをスタートするためには、スタートするポイントが必要だと思うのですが…。

Ｋ：勿論です。

質問：いずれにしてもワークをする人は何かに同調する必要があります、そうではありませんか？

Page3

Ｋ：助けるという意志によって自動的にその人は、そのように考えなくても、その源に同調します；源は不可視のヘルパー、（あるいはヒーラー自身はわからなくても）その他の何かかもしれません。それはただヒーラーに与えられるのです。恐らく、それゆえに私はただ不可視のヘルパーだけである、とは述べなかったのかもしれません。なぜなら、その癒しを提供しているのは何か特定のパーソナリティーではなく、法則(Law)かもしれないからです。おそらくその意図が純粋であると、エーテル・バイタリティーの海を泳ぐことによって、相手に提供するために海それ自体からあなたに与えられるのかもしれません。

質問：それではもし私が磁気セラピーを行おうとする場合、どうしたらよいですか？

Ｋ：あなたがそれを表現しようとしまいと、それは練習できるものではありません。そして、あなたの質問は自分にそれができるか否かがどのようにわかるのですか、というものですね？いいですか、もしあなたにそれができる場合、それがチャネルとして来るのか、あるいは生の海から来るのかがわかります。どちらの場合でも、あなたはチャネル、媒介となるのです。

質問：しかし、そのどちらであっても、それは結局生の海から与えられるのですね。

Ｋ：そうです。**それが不可視のヘルパーからのものであっても、不可視のヘルパーはまた何であれ生の海から受け取っているのです。**しかし、次のように説明しましょう。たとえ、ヒーリングがヒーラーによって意識的に行われたとしても、ヒーラーはそのためのエネルギーを吸収するのです。しかし、生憎、このようなケースではヒーラーは自分自身のためには何も受け取らず、その人は自分自身の現在のパーソナリティーのためには何もできず、他の人のためのチャネルになるのです。 そしてほとんど場合、磁気セラピーを行うセラピストは自分自身のエネルギーが枯渇してしまいます。なぜなら、**チャネルとしてヒーリングしている間に自分自身のたくさんのエネルギーが消耗されてしまうからです。特に、そのような同調のステートに到達していない人がヒーリングを行うと、そうなります。**そしてそのような同調は意識的に行うものではないので、常にそのようなことが生じます。ですから、そのような磁気セラピーは行うことは勧めません。なぜなら数多く行ううちに次第に自らのエネルギーが枯渇していくからです。

質問：私はときどきエレブナに手紙を送ってくる人々からたくさんの文書を受け取ります。彼らは自分たちが行っていることを送ってきます。しかし、私にはそれらがどのようなカテゴリーになるのかわからないのです。なぜなら、それはあなたが言うような信仰ヒーリングでも、磁気セラピーでもないからです。しかし、おそらく何らかの実体を呼び起こしているのではないかと思うのですが。それが何かの実体なのかどうかわかりません。しかし、そのステートに従って何かを与えられて、それを繰り返し行っています。より高い段階に行けば行くほど、それらのエネルギーと同調できます。ですから、それについてあなたの考えを教えてください。なぜなら、それは磁気セラピーではないのです。

Ｋ：とても簡単です。彼らは人間が時のなかで創造したエレメンタルを使用しています。それはテクニカルなメソッドであり、エレブナではそれを認めていません。なぜなら、通常そのようなエレメンタルはそれ自身がエネルギーを得るために…言い換えれば生きるために…そのパーソナリティーが気づかないまま、そのパーソナリティーからエネルギーを奪い、そのパーソナリティーのエネルギーを枯渇させてしまいます。そしてそのパーソナリティーが気づいた時には手遅れとなります。言い換えれば、それら全てのメソッドはマジック、魔術の範疇に入るのです。マジックには広範なものがあります。なぜなら、人間は古代からマジックを行っており、それらは人が現象というものを行う唯一の方法として知られてきました。

質問：つまり、磁気セラピーを行う人は生の海からエーテル・バイタリティーをチャネルしているわけですね、たとえその結果、その人自身は何も受け取らず、消耗してしまっても。他方、エレメンタルを使ってはいけないということですね。

Ｋ：決してエレメンタルを使うべきではありません。

質問：しかし、他のケースではそれは絶対にエレメンタルなのですね。それがはっきりしたのは初めてです。

Ｋ：**信仰ヒーリングであっても、磁気セラピーであっても、それは気づきの上昇の結果です。**もしあなたが他のメソッドを使用しているなら、他のメソッドとはつまりエレメンタルを利用する方法ですが、その場合には気づきの上昇は必要ありません。なぜなら、その場合はテクニックを使用し、それ以外のものは何もありません。それゆえに、それらの実践には非常に多くの危険がつきまといます…それを行うパーソナリティーのみならず、それらを受ける人にもです。なぜなら、あなたはそうとは知らずにエレメンタルに同調し、そのエレメンタルにエネルギーを与え、もしそれらが同じバイブレーションのなかで振動する時、危険が始まるのです。

Page4

質問：聖者たち、そのようなパーソナリティーはどのような傘の下に分類されるのですか？

Ｋ：聖者は、もし私たちが祈るのなら、信仰の部類に入ります。もし誰かを信じ、祈るならそれは信仰ヒーリングです。通常、あなたは未知のものに、つまりどういうものか知らないものに対して祈ることはしません。例えば、何らかのパーソナリティーに対して祈ります。あなたが創造するエレメンタルは、自動的にあなたがフォーカスする人、あなたが助けを求める特定のパーソナリティーの意識とつながります。神という考えですら、あなたがそのような考えを抱くと、あなたは自分の理解、あなたが理解する神の概念に従ってエレメンタルを作ります。そうです、あなたはここでもエレメンタルを作ります。いいですか、はっきり理解してください。思考というメカニズムが始まった瞬間、直ちに私たちはエレメンタルを作ります。それは多くのレッスンの中で話しましたが、私たちは数え切れないほど無数のエレメンタルを作ります。私たちがそのスイッチを切ったままにしておくことは不可能です。そうとは気づかずとも、**私たちは必ずしもそうする必要がなくても、また何かにフォーカスする必要がなくてもエレメンタルを作り出しています。**

質問：少し戻ってもよいでしょうか。誰かがある人に悪意あるものを送るとします。受けた人はそれを解消してしまい、相手に送り返すことはしません。もしそれを送り返したなら、それは７倍も強くなるのですね。

Ｋ：もしそれをあなたが送り返せば。

質問：そうです。今私はエレメンタルを使うヒーリングについて考えています。エレメンタルがあなたのところに来て、あなたはそれを受け取ります。なぜなら、あなたがそれを望むからです。あなたはそれをヒーリングを与える相手に送ります。さて、そのエレメンタルですが、エレメンタルが背後に抱いている目的はそれ自身がエネルギーを得ることです。つまり、エレメンタルの動機は生き残ることです。ですから、このようなタイプの循環が生じます。ある人がエレメンタルから受け取り、それを別の人に回すというようなことが続きます。すると、エレメンタルの自己満足をその度毎に７倍強くするということでしょうか？

Ｋ：違います、あなたが創造するそのようなエレメンタルの場合にはそうなりません。なぜなら、それらはエレメンタルで…。

質問：つまり、その人がただそれを作るだけだから…。

Ｋ：あなたは一つのエレメンタルを作っているのであり、エレメンタルの軍団ではありません。それはあなたが作り出す特定のエレメンタルです。

質問：でも、あなたがそれを作ったのではなく、同調という形であなたがそれを使うことによってエネルギーを与えます。もしあなたが呪文のような言葉を述べることによって誰かの病気を癒します。そしてエレメンタルが…。

Ｋ：架空のエレメンタルを作りますが、あなたがそれを信じるので、助けとなるでしょう。しかし、本当に助けになるでしょうか？それは相手に影響を与えるほど強くあなたがそれを信じるか、そして相手がその類の助けを受け取るかどうかによります。しかし、今エレメンタルについて話していますが、欲望的想念のカテゴリーのエレメンタルがあります。覚えているかもしれませんが、欲望的想念が現れて、そのようなエレメンタルが作られます。まず最初に想念が必要となります。つまり、まず想念のスパークがあり、そこでは欲望が想念、思考に対して支配的です。そして、素質的可能性の四番目にサイクルに到達するまでは、一般に人間はそのようなエレメンタルを作り出します。

人間はそのようなタイプ、そのようなカテゴリーのエレメンタルの創造を、四番目のサイクルにおいて完全に脇に置くことができるでしょうか？答えはノーです。完全にそれを作らないということはありません。人間が自己実現に到達しても、時々（継続的にではありありませんが）欲望的想念のエレメンタルを作り出します。

Page5

ですから、二つのカテゴリーがあります。欲望的想念のエレメンタルと想念的欲望のエレメンタルです。さて、人間が、パーソナリティーが同一体として創造したエレメンタルは、肉体の死によってそのパーソナリティーが別のバイブレーションへと移行した時にはどうなるのでしょうか？死んだ人はあちらの世界で全ての人、あらゆるものを作り出すと述べました。

それらの創造物はこの世界に残された人々にどのような影響を与えるでしょうか；それらは人々に影響をもたらすでしょうか？前に述べたように、残された人は何も影響を受けません。またすでに向こうのバイブレーションのなかにいる人で、新たに向こうのバイブレーションに入った人によってそのイメージを創造された人も、影響を受けることはありません。どう思いますか？これはどのようになっているのでしょうか？質問を繰り返しましょう。

死んだ人が創造したものは残された人に影響を与えるでしょうか、そして彼らを意味するエレメンタルは同一体なのでしょうか？例えば、私が死に、愛する人たちを背後に残して旅立ちます。向こうにいる私は、自分がこの世界にいるといるイリュージョンを抱きます。私は誰をも背後に残さずに、全ての人を創造します。それらのエレメンタルは、背後に、この世界に残された人に影響を与えるでしょうか？ノーと答える時には、それに対して何らかの理由付けをする必要があります。またイエスと答えてもそれに理由を与える必要があります。なぜでしょうか？

質問：なぜなら、それらはイリュージョンによる創造だからです。

Ｋ：そうです、しかし…。

質問：なぜなら、それらは別のバイブレーションにあるものだから…。

Ｋ：そのパーソナリティーが体を…意識ではなく体を（意識が作り出されることはありません）…創造した瞬間、その意識はこの世界、こちらにいるパーソナリティーとつながります。そして多くのレッスンで説明したように、それは生の多様性（多重性）としての能力によるものです。ですから現れとしてのそのパーソナリティーは、体が作り出されたのですが、それ自身としてのパーソナリティーです。

ですから、死んだそれらのパーソナリティーによって何が作り出されるのでしょうか？創造されるのは体だけで、意識ではありません。そしてそれらの作り出されたパーソナリティーたちは、死んだ人が「その人はそのような行動を取る」と考えるとおりの行動をします。再び質問しますが、それらのパーソナリティーたちはこちらの世界にいる人々に影響を与えるでしょうか？

質問：なぜなら、それらはそれを創造した人とはつながっていますが、それらのパーソナリティーが意味する実際の人とはつながっていません。

Ｋ：私が前に述べたことですが、それらはその意識を示すそのパーソナリティーとつながっており、それは創造ではありません。創造とは言えません。

質問：私が死ぬと、私はこのパーソナリティーを創造します。それはあるタイプの欲望を現すものです。これは実際のパーソナリティーとは異なったバイブレーションとなり、それゆえに矛盾するのではないでしょうか？

Ｋ：全ては汎宇宙的潜在意識に記録されます。さて、死んだパーソナリティーは、肉体から去る瞬間までの全ての人と物事について知っています。ですから、“創造”するそのパーソナリティーは、たとえ意識はここにいる人とつながっていても、その創造者による解釈は生きている間にその人が相手をどのように知っていたかによります。

私たちは常に主、絶対、主の聖性によって包まれています。

EREVNA SPA57/KE9/JA6